

TOTO

洗面所用サーモスタット混合栓

TL393型

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△ 注意の表示によってお知らせしています。

△ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

△ 注意

- 湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

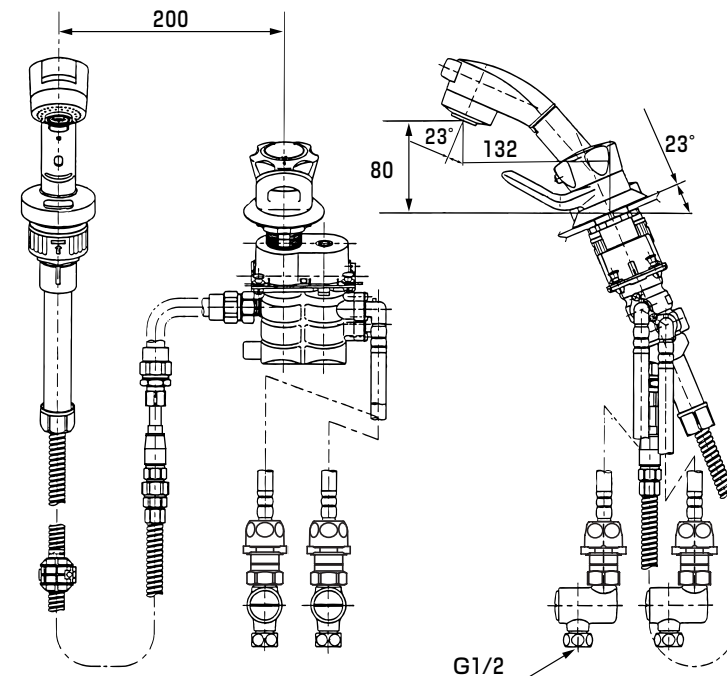
付属部品明細

	名 称	数 量
1	施工説明書	1 枚
2	取扱説明書(保証書付)	1 冊
3	ストッパー	1 個
4	開閉工具	1 個

完 成 図

TL 393 型

(単位：mm)



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

仕 様

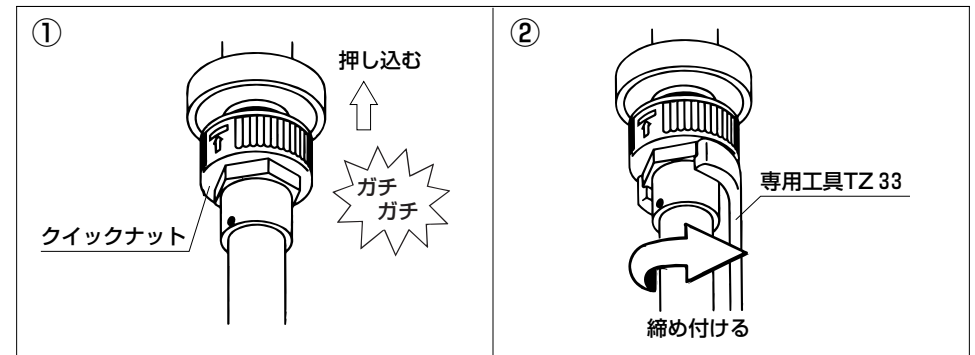
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用 途		一般住宅洗面所用

取 付 け 前 に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

より簡単に施工していただくために、本商品は、クイックナット、ホース接続ワンタッチカプラーおよびワンタッチソケットを採用しています。

1.クイックナット



2.給水・給湯ホースの接続

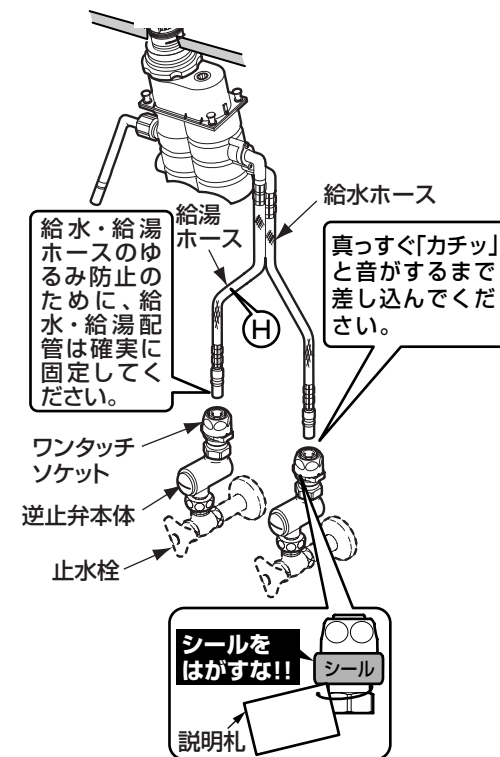
- ①ワンタッチソケットおよび逆止弁本体を止水栓に固定する。

注 意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けください。
そのままでもホースを差し込めます。

- ②給水・給湯ホースに **異物の付着がないこと**を確認し、ワンタッチソケットに**真っすぐ奥まで** (「カチッ」と音がするまで) 確実に差し込む。
確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

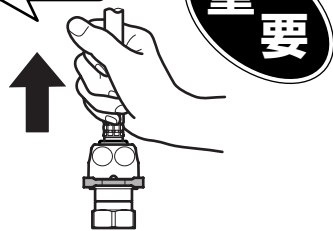
この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。



③ホースを**真っすぐ引っ張って外れない**
(抜けない) ことを必ず確認する。

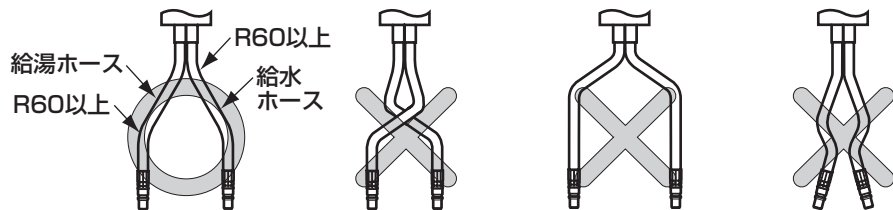
施工後、万一ホースを外した場合は、**「ワンタッチソケット」**の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。

真っすぐ引っ張って外れないことを確認してください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを**必要以上の力で曲げて折らないように**注意してください。ホースの**最小曲げ半径は60mm**です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを**水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで**ください。
- ホースを**無理に引っ張らないで**ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の**不要な接触は避けて**ください。
外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



3.シャワーホースの取付け

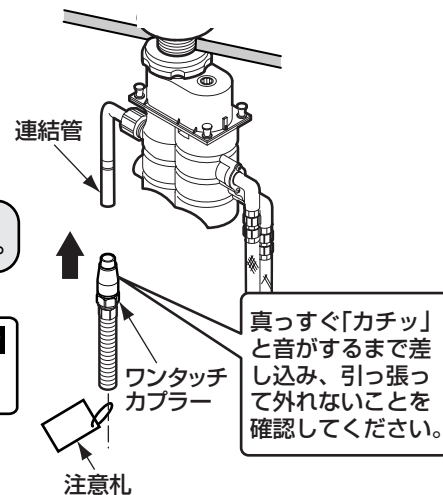
一般地用の場合

ワンタッチカプラーを連結管に**「カチッ」**と音がして、それ以上差し込めなくなるまで**真っすぐ**差し込む。

注意

異物の付着がないことを確認してください。

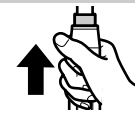
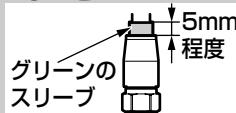
この際、同梱の**「シャワーホース・ワンタッチカプラー」**の注意札を必ずシャワーホースに通してください。



重要

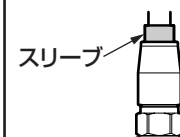
取り付け後の確認

- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること**
- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること**



<ワンタッチカプラーを取り外す場合>

- ①グリーンのスリーブを押し込む
- ②ワンタッチカプラーを引き抜く



寒冷地用の場合

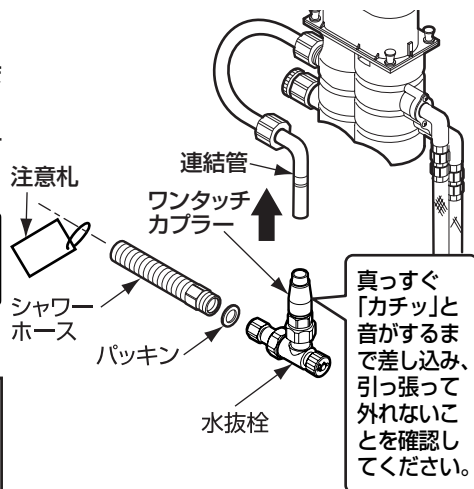
- ①シャワーホースを水抜き栓に接続する。
- ②連結管にフックを通す。

注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- 異物の付着がないことを確認してください。

- ③ワンタッチカプラーを連結管に「カチッ」と音がして、それ以上差し込めなくなるまで真っすぐ差し込む。
- ④フックを本体側水抜きコックに取付ける。

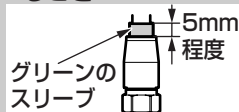
この際、同梱の「シャワーホース・ワンタッチカプラー」の注意札を必ずシャワーホースに通してください。



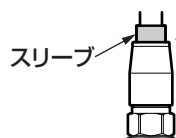
取り付け後の確認

重要

- グリーンのスリーブが5mm程度出ていること
- 奥まで確実に差し込まれているか再確認すること



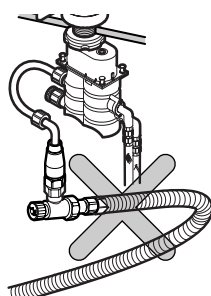
<ワンタッチカプラーを取り外す場合>



- ①グリーンのスリーブを押し込む
- ②ワンタッチカプラーを引き抜く

注意

シャワーホースの水抜き栓の取付方向に注意してください。(シャワーホースが曲がっていたら直してください)



器具の取付け

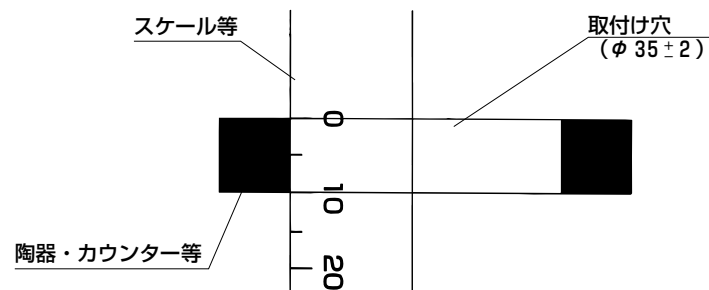
1.給水・給湯管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

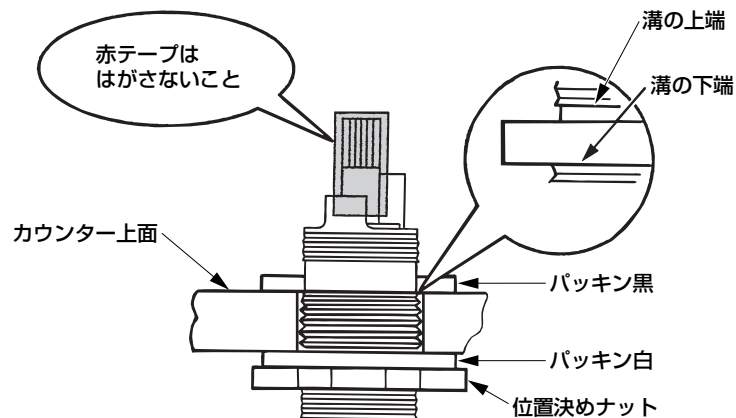
2.本体の取付け

1) 取付け側の厚みを測定

まず取付け側(陶器・カウンター等)の厚みをスケール等で測ってください。



- 2) 位置決めナットの位置を決める。
位置決めナットの上端を水栓本体の **溝の下端** から測定した厚み分下げた位置に合わせてください。



注意

パッキン（黒）は、水栓本体の溝の下端と上端の間に挿入するようにして下さい。

水栓本体の取付穴周囲の汚れを取る。

- 3) 仮締めする

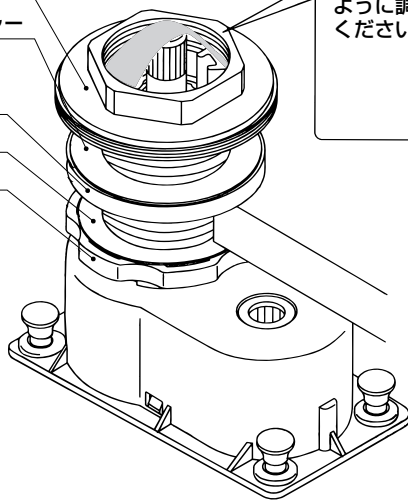
締め付ナット

スリップワッシャー

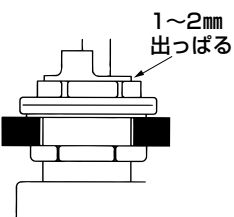
パッキン（黒）

パッキン（白）

位置決めナット



締め込んだ際、必ずナットの上端より出っばるよう調整して下さい。

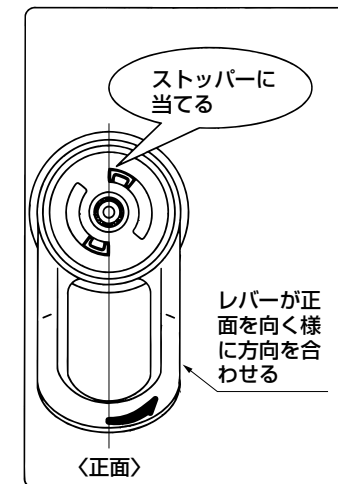
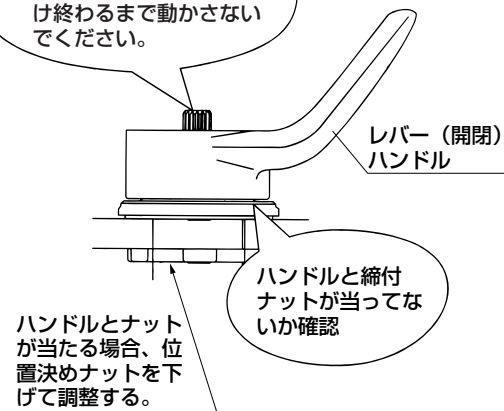


パッキンと本体のすき間があると取付面より下に水が漏れることがあります。すき間を無くして下さい。

- 4) レバー（開閉）ハンドルを仮組みしてレバーの向き、位置決めナットを微調整する。

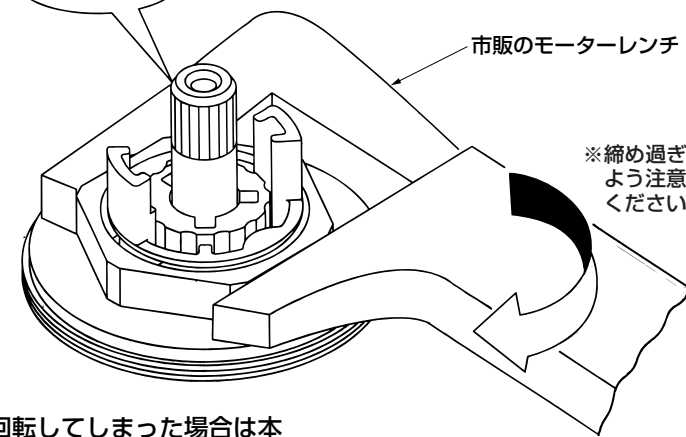
（赤テープをはがして下さい）

動かさないでください。工場出荷時に温度設定しておりますので、締め付け終わるまで動かさないでください。



- 5) レバー（開閉）ハンドルを外し本締めする
本体が共回りしないように注意して締め付けてください。

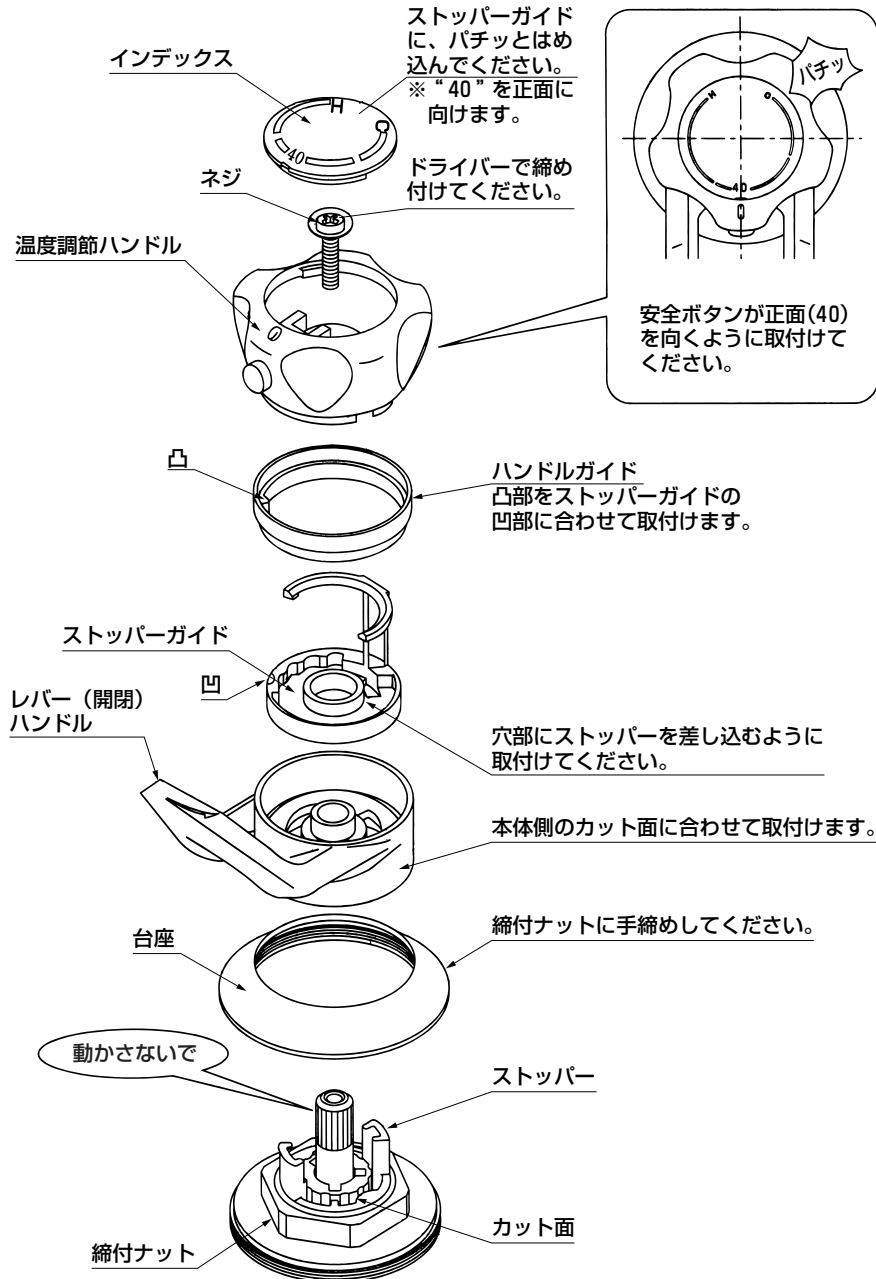
動かさないで



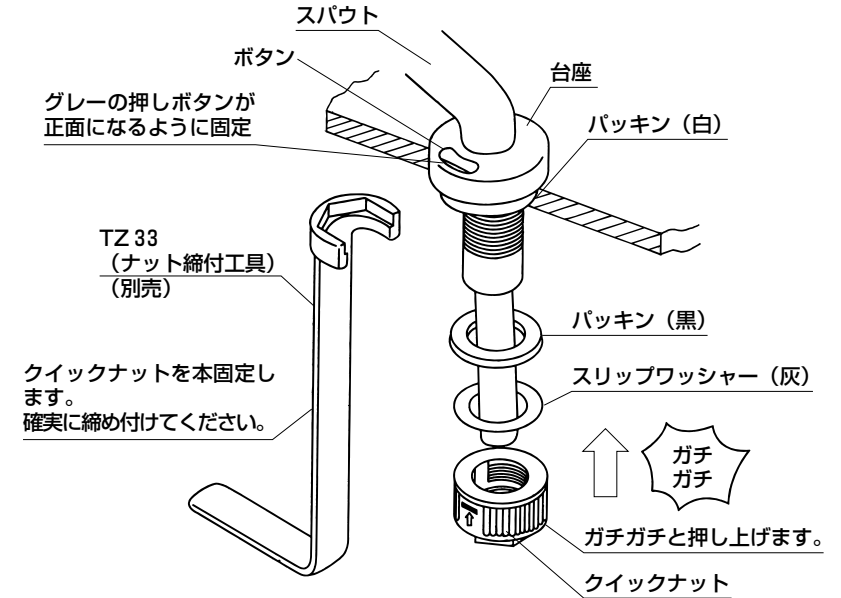
※締め過ぎないように注意して下さい。

※本体が回転してしまった場合は本体を回転させて、位置を戻して下さい。

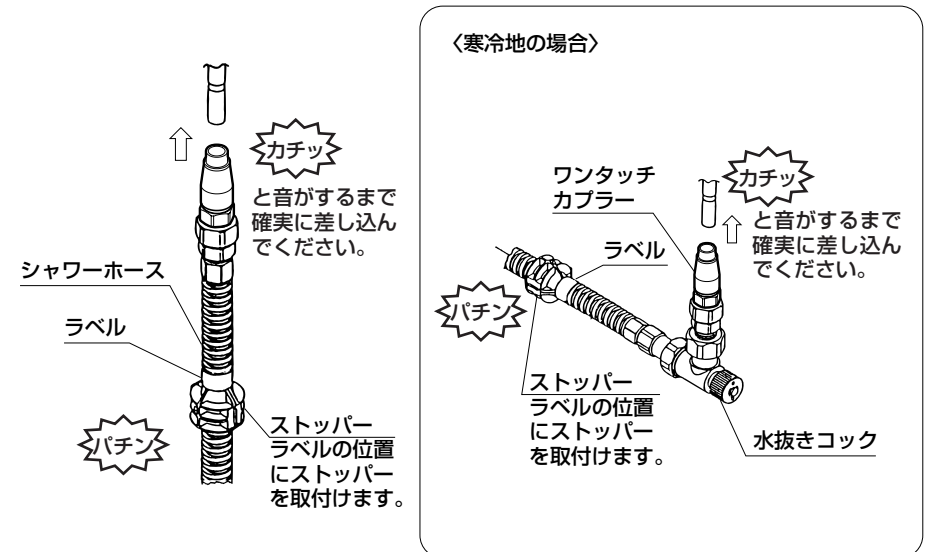
6) ハンドルその他の組み付け



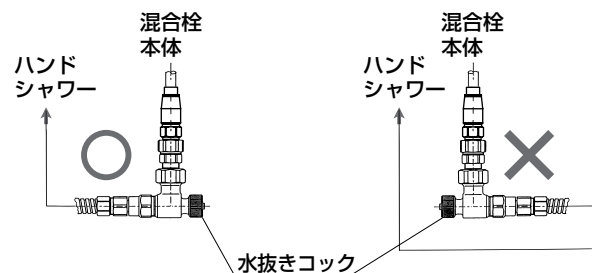
7) ハンドシャワー支持部の取付け



8) シャワーホースの取付け

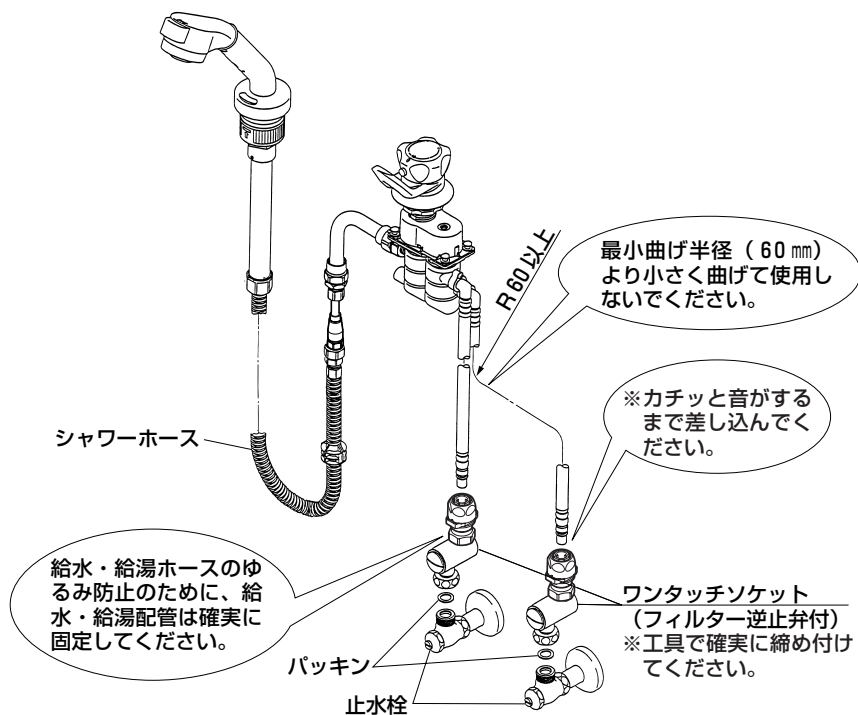


●水抜きコックの取り付け方向に注意してください。(寒冷地の場合)



※水抜きコックにシャワーホースを締め付けた後ワンタッチカバーを、接続管に押し込んでください。

9) ワンタッチソケット及び給水・給湯ホースの接続



※ホースは最小曲げ半径 (60 mm) より小さく曲げて使用しないでください。折れて早期破損を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径 (60 mm) よりも小さく曲げないよう、ご注意ください。又、金具本体端面から **極端に屈曲して施工しない** ください。

取付後の調整

1. フィルターの掃除

フィルターが詰ると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。**器具取付後は「取扱説明書」の手入れのしかたをご参照になり、必ずフィルターを掃除してください。**

また、お客様にも時々掃除していただくようご説明ください。

2. 温度確認及び調節

工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって目盛りどおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は「取扱説明書」の温度調節のしかたをご参照になり、温度調節を行ってください。

お 手 入 れ

器具がいつまでも美しさを保つように、又快適にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. ふだんは柔らかい布でふいてください。
2. スムーズな昇降動作を行うために、定期的に支持管を柔らかい布でふいてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。又支柱部に油、オイルなどは絶対につけないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

寒冷地用水抜方法

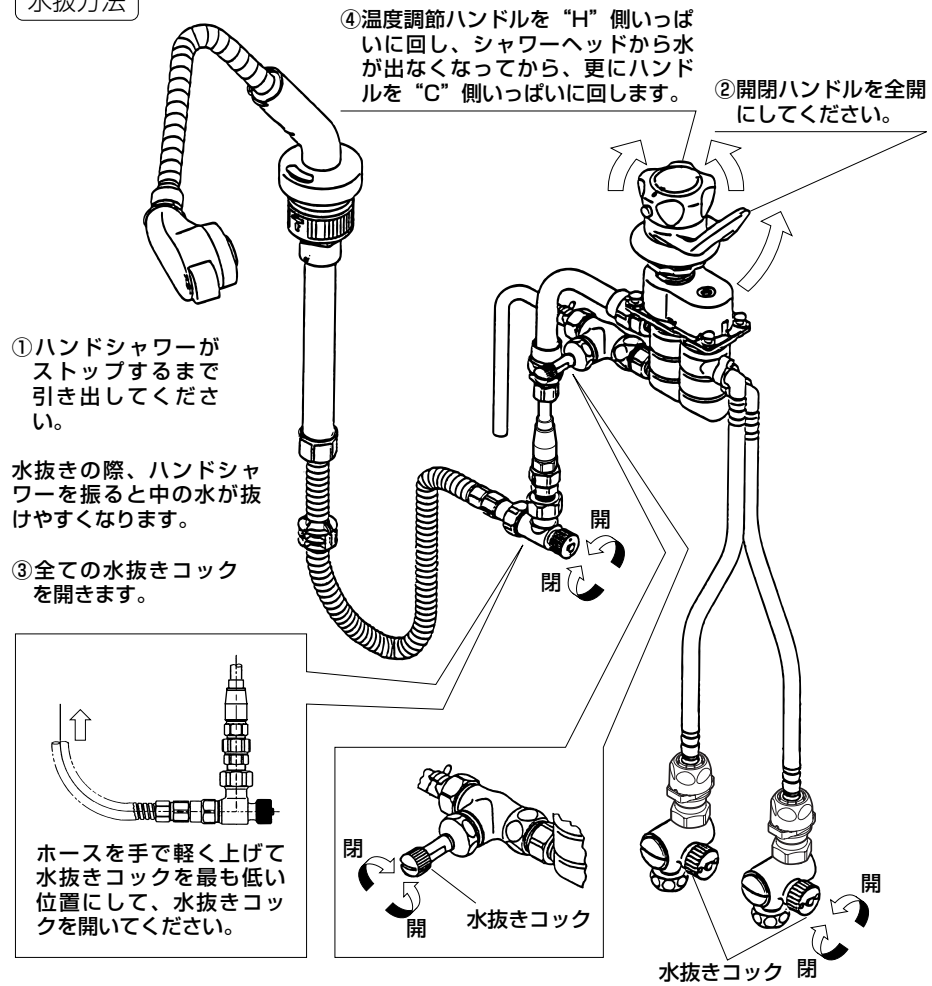
寒冷地用の場合は、器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜き柱の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

※水抜きコックを開ける時は受皿などで受けてください。

※水抜き後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。

※水抜き後は必ず元のようにセットしてください。

水抜き方法



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。